

## 仙台市における自殺対策の方向性と平成25年度の計画について

### 1 仙台市における自殺対策の方向性

#### (1) 自殺対策の対象の重点化

これまで本市では、関係機関・団体と連携し自殺対策に取り組んできたが、震災によるストレス障害や生活環境の変化等により、被災者のメンタルヘルスの悪化による自殺者の増加が懸念されることや、本市の20歳代の若年者及び30-40歳代等の働き盛り世代の自殺率が高い現状を踏まえ、関係機関や関係団体との連携をさらに強化しながら、昨年度に引き続き、以下のとおり対象を重点化して対策に取り組む。

被災者 20歳代の若年者 30-40歳代等の働き盛り世代
------------------------------------

#### (2) 地域におけるゲートキーパーの養成

上記の対象への対策に加え、自殺のハイリスク者は、地域の様々な窓口にアクセスしていることが考えられるため、地域の支援者等地域のキーパーソンに対するゲートキーパー養成を行い、対象者が適切な支援につながるような体制を地域全体で構築する。

### 2 今年度の具体的な取組み

#### (1) 被災者向けの自殺対策

##### ① 仙台市震災後心のケア行動指針に基づいた被災者支援

- ・震災によるストレス反応、相談窓口などの普及啓発：市政だより等による広報
- ・精神保健福祉事業における相談：区の各種相談、震災後の生活困りごと相談会など
- ・ハイリスク群に対するアウトリーチ活動：各区保健福祉センター、精神保健福祉総合センターによる訪問相談、支援者会議の実施

##### ② 被災者の心のケア支援事業による普及啓発

- ・地下鉄広告媒体を活用した普及啓発
- ・被災者向けパンフレット「まあるいはあと」配布 等

#### (2) 20歳代の若年者への自殺対策

- ・若年者向けの普及啓発事業（新）（大学生参加による普及啓発方法の検討、啓発媒体の作成）

#### (3) 30-40歳代等の働き盛り世代への自殺対策

- ・働き盛り世代の心の健康づくり啓発リーフレットの作成、配布
- ・中小企業に対する職場のメンタルヘルス事業（新）（宮城県中小企業同友会との協働事業：会報への原稿連載、研修会の開催）
- ・職場のメンタルヘルス支援事業（研修会、講演会の開催）
- ・働く市民の健康づくりネットワーク会議
- ・職場のこころの健康づくりセミナー（新）（協会けんぽとの共催）（H25.10.8(火) 実施予定）
- ・無料法律相談に併せた健康相談会の実施

#### (4) 全体に関わること

- ・ゲートキーパー養成講座の開催
- ・かかりつけ医等心の健康対応力向上研修
- ・自殺予防街頭キャンペーン（H26.3.15(土)実施予定）